

首都高速道路株式会社
第3期(平成20年3月期)
決算説明会

2008年6月12日

目次

1. 平成20年3月期の連結業績	2
2. 平成21年3月期の連結業績の見通し	9

当資料は億円未満を切り捨てて表示しております。

1. 平成20年3月期の連結業績

事業の概況

- ◆ 2007年12月に中央環状新宿線4号～5号間が開通
- ◆ 2008年3月に有明辰巳ジャンクション間の4車線化
- ◆ 渋滞は昨年に比べて大幅に減少 (対前期比10.3%減)
- ◆ 利用交通量は約115万台/日 (前期と同水準)
- ◆ ETC利用率が80%に到達 (前期74%)
- ◆ 新たな安全対策 ～東京スマートドライバー～
- ◆ 環境への取り組み

連結決算の概要

(単位：億円)

経営成績

区 分	19年3月期	20年3月期	増減
営 業 収 益	2,923	4,449	+ 1,526
営 業 費 用	2,882	4,423	+ 1,541
内：道路資産賃借料	1,944	1,934	10
営 業 利 益	40	25	15
経 常 利 益	42	31	11
当 期 純 利 益	27	20	7

財政状態

区 分	19年3月期	20年3月期	増減
総 資 産	5,047	4,548	499
負 債	4,765	4,241	524
株 主 資 本	281	301	+ 20
資 本 金	135	135	-
資 本 剰 余 金	135	135	-
利 益 剰 余 金	11	31	+ 20
負 債 ・ 純 資 産 合 計	5,047	4,548	499

高速道路事業の概要

- ◆ 料金収入等は2,558億円 (対前期11億円の増収)
閏年による営業日1日増、大型車混入率増等の影響による増
- ◆ 当期に完成した道路資産の機構への引渡し1,828億円
- ◆ 協定に基づく機構への賃借料1,934億円の確実な支払い

(単位：億円)

	19年3月期	20年3月期	増減
営業収益	2,837	4,386	+ 1,549
料金収入等	2,547	2,558	+ 11
道路資産完成高	289	1,828	+ 1,539
営業費用	2,800	4,368	+ 1,568
内：道路資産賃借料	1,944	1,934	10
営業利益	36	17	19

高速道路事業以外の事業の概要

駐車場事業

- ・汐留駐車場自動二輪車スペースの開設
- ・高架下駐車場の新規開設（代々木四丁目他3箇所）
- ・南麻布(3)駐車場の立体化 等

その他の事業

- ・パーキングエリアにおけるお客様のニーズに沿った販売品目の拡充及び営業時間の延長 等

上記以外にも国、地方公共団体等の委託に基づく受託事業等も行っています。

上記の事業により、営業収益63億円、営業利益7億円を計上



自動二輪車駐車場
(汐留駐車場)



南麻布(3)駐車場

連結財政状態

20年3月期末 総資産残高 4,548億円

(498億円)

資産

4,548億円

(498億円)

仕掛道路資産

2,848億円

減価償却資産

646億円

建設中路線の進捗による1,255億円の増加

中央環状新宿線等の供用による1,828億円の減少

負債

4,241億円

(523億円)

道路建設関係社債 772億円

道路建設関係長期借入金

1,966億円

新規借入・新規社債発行による1,350億円の増加

機構への債務引渡しによる1,904億円の減少

純資産

306億円

(+ 24億円)

利益剰余金

31億円

当期純利益計上による20億円の増加

()内は19年3月末からの増減

単体決算の概要

(単位：億円)

経営成績

区 分	19年3月期	20年3月期	増減
営 業 収 益	2,910	4,431	+ 1,521
営 業 費 用	2,871	4,418	+ 1,547
内：道路資産賃借料	1,944	1,934	10
営 業 利 益	38	12	26
経 常 利 益	39	12	27
当 期 純 利 益	25	9	16

財政状態

区 分	19年3月期	20年3月期	増減
総 資 産	5,025	4,490	535
負 債	4,745	4,200	545
株 主 資 本	280	289	+ 9
資 本 金	135	135	-
資 本 剰 余 金	135	135	-
利 益 剰 余 金	10	19	+ 9
負 債 ・ 純 資 産 合 計	5,025	4,490	535

2. 平成21年3月期の連結業績の見通し

2008年度開通路線の概要



晴海線（豊洲出入口～東雲JCT）1.5km

現在、都心環状線に集中している築地・月島地区等の交通や晴海・豊洲地区の開発により発生する交通を高速湾岸線に誘導し、交通の分散を図る路線。

開発著しい豊洲地区と湾岸線が直接結ばれ、**臨海副都心～豊洲地区間の所要時間が5分短縮（10分⇒5分）。**

湾岸線との接続部となる
東雲JCT ※

撮影：2008年4月

※名称については手続中



川崎縦貫線（大師横浜方向出入口）

横羽線に接続する本出入口の供用により、川崎市臨海部と横浜市中心部とのアクセスにおいて、浅田出入口利用よりも街路走行区間が減少し、**川崎大師駅～みなとみらい間の所要時間が10分短縮（30分⇒20分）。**

また、交通分散により、浅田交差点を先頭に高速本線まで影響することがある**浅田出口の渋滞が大幅に緩和。**

※ 殿町～大師JCT間(2.0km)は2010年度に開通予定。



出入口の建設が進む
大師JCT(仮称)

撮影：2008年2月

距離別料金への移行

- より利用しやすい首都高とするため、距離別料金へ移行します。
- 昨年9月には「意見募集案」を発表しました。
- 現在、お客様などからお寄せいただいたご意見を踏まえ、より利用しやすい料金とするよう準備を進めています。

距離別料金移行のメリット

距離別料金は距離に応じた公平で使いやすい料金体系です。

距離別料金は首都圏全体の有料道路をより効率的に使いやすくするための第1歩となります。

距離別料金は首都圏の環境改善のための料金体系です。

均一料金

- 東京線 700円
- 神奈川線 600円
- 埼玉線 400円

距離別料金

入口から出口までの距離によって料金が決まります。

利用距離によって、現行の料金より安くなる又は高くなる区間があります。

渋滞が緩和され、より環境にやさしい道路に。



平成21年3月期の連結業績見通し

(単位：億円)

	20年3月期 実績	21年3月期 見通し	増 減
営業収益	4,449	3,203	1,246
料金収入等	2,558	2,632	+ 74
道路資産完成高	1,828	461	1,367
その他	63	110	+ 47
営業費用	4,423	3,189	1,234
内：道路資産賃借料	1,934	1,974	+ 40
営業利益	25	14	11
経常利益	31	5	26
当期純利益	20	2	18

平成21年3月期の見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

首都高グループの概要

2008.3.31時点 連結子会社18社
(2008.7.1時点 連結子会社15社)

高速道路事業

～道路事業子会社～

【料金收受】8社(3社) 2008.7.1付け合併により再編

トラスティーロード(株)、ユニ(株)、(株)エヌティジェー 首都高トールサービス西東京(株)
(株)トワン、(株)とうさい、(株)エフイージー 首都高トールサービス東東京(株)
横浜アールエス(株)、ケイエス(株) 首都高トールサービス神奈川(株)

【交通管理】1社(1社)

首都高パトロール(株)

【車両管理】(1社)

2008.7.1付け設立予定(首都高パトロール(株)の100%出資会社)

【維持修繕】6社(7社)

首都高メンテナンス西東京(株)、首都高メンテナンス東東京(株)、
首都高メンテナンス神奈川(株)、首都高電気メンテナンス(株)、
首都高ETCメンテナンス(株)、首都高機械メンテナンス(株)

2008.6.6付け 首都高技術(株)設立

～関連事業子会社～

【PA事業、駐車場事業等】1社(1社)

首都高速道路サービス(株)

【保険代理店事業等】1社(1社)

首都高保険サポート(株)(首都高速道路サービス(株)の100%出資会社)

【労働者派遣事業等】1社(1社)

首都高パートナーズ(株)(首都高速道路サービス(株)の100%出資会社)

駐車場事業

その他の事業

終わりにあたって

見通しに関する注意事項

- 本日説明いたしました内容については、将来の予測や見通しに関するものが含まれていましたが、こうした将来の予測等には、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。
- 実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おきください。

【お問い合わせ先】

首都高速道路株式会社 財務部 決算グループ TEL 03-3539-9540 (直通)

URL <http://www.shutoko.jp>